

稲作情報No. 5

平成28年7月20日
南魚沼地域農業振興協議会
南魚沼農業普及指導センター

【7月20日現在の生育状況】

- コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈が「やや長い」、茎数が「やや多」、葉色が「やや濃い」となっています。
- また、ほ場ごとの生育のバラツキが大きく、一部ほ場で倒伏や栄養凋落の懸念があります。

【品質向上のポイント】

～2回目穂肥は、葉色に合わせて施用！～

- 2回目の穂肥は、出穂10日前に、窒素成分で10aあたり1.2～1.5kgの施用を基本に、ほ場ごとの葉色を確認して施用量を決定しましょう。
- 特に、草丈が長く、葉色の濃いほ場では、遅め・控えめの対応としましょう。

表 幼穂長と出穂前日数の関係

出穂前日数	幼穂長 (cm)
24日	0.1
20日	0.2
18日	0.5～1.0
12日	4.0～6.0

図 葉耳間長による出穂前日数の把握



1 7月20日現在の生育状況（管内調査地点のコシカリの平均、〈〉内数値は指標値比差）

草丈：やや長（80cm 〈107%〉） 茎数：やや多（430本/m² 〈110%〉）
葉色：やや濃（34.6 SPAD値〈+1.1〉） 葉数：やや多（12.2葉 〈+0.8〉）

2 今後の水管理

ほとんどのほ場で幼穂形成期となっています。飽水管理を徹底し、**急激な葉色低下を防ぎ**、稲体の活力維持に努めましょう。また、節水のため降雨を活用し、大切な水資源の無駄遣いになる掛け流しは止めましょう。

3 カメムシ類対策

オオトゲシラホシカメムシよりもアカヒゲホソミドリカスミカメ等のカスミカメ類が多く発生しています。出穂期を把握し、適期に防除を行いましょう。

4 いもち病情報

管内のコシヒカリ BL で葉いもちの発生が確認されました。いもち病が発生しやすい時期となっています。特にコシヒカリ BL 以外では見つけ次第防除を行いましょう。

南魚沼地域振興局農林振興部普及課 作物担当
電話 772-3337/FAX 772-2612